

闘う政治家。 川松真一郎

『政治に新陳代謝を』

日本は「失われた30年」と言われていますが、1日も早く抜け出さなくてはなりません。この30年で社会環境は大きく変わりました。スマホやSNSの普及などもあり、国民の意識も、経済活動も、働き方など様々なものが変化を遂げてきたのに、政治が変わっていないのは問題だと考えています。

企業では、その都度、適材適所で人材が配置されますが、日本の政治家は、いつまでも続ける事が出来ます。これが新しい人材の流入を妨げ、政治に大きな風を吹かせる事が出来ない主な要因であり、新陳代謝が阻害されています。多くの仲間とともに、世直しに励みます。ぜひ、皆さんと、大きな風を吹かせたいと思っています。下町で羽ばたいた蝶々の風を大きくすることで、必ずや日本中に、世界中に大きな風を吹かせる事が出来ると信じています。



あなたの医療を守る

今、東京の病院は存続の危機に立たされています。コロナウイルスによって明らかとなった東京の医療問題。誰もが安心して、いつでもアクセスできる環境整備を訴えています。公立病院と民間病院の共存共栄など、これまで誰も手を入れてこなかった聖域をチェンジします。

税金は納税者のものだ

私は、「政治の常識や役所の常識が、世間の非常識」過ぎると訴えてきました。過去の慣例にしたがって、未来を決めるのは間違っています。過去の成功体験は、未来の成功体験ではありません。国民が減税を求めているならば、しっかりと検証する。検証さえもせずに、減税は不可能という論をチェンジしましょう。

手取りアップへ改革

設備投資を即時に費用化できるようにすれば、短期的には企業の投資意欲を高め、経済を活性化させる効果が期待できます。そうすれば、その年度の課税所得が減り、法人税の支払いが軽くなります。結果として手元資金が増え、追加投資や賃上げに回しやすくなります。

心配のない子育てパート

これまでのやり方では成果が出てきませんでした。お子さんが生まれたらその家庭に2000万円を給付するなどの大胆政策が必要です。これまで政治家の多くは少子化対策はこの国の最大の課題だと言いながら乗り越えられていません。この2000万円は毎月10万円を18歳までという仮定に基づくものです。これであれば、安心して子育てが出来るとは思います。

私の目標